

2024年群馬県内企業の冬季ボーナス支給額アンケート

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

県内企業に対して、下記の通り、今冬季ボーナス支給額のアンケート調査を実施した。

【アンケート調査要領】

調査時期・・・2024年11月中旬～12月上旬
調査対象・・・県内に事業所を有する企業1971社
調査方法・・・郵送により配布、回収
回答数・・・392社(回答率19.9%)

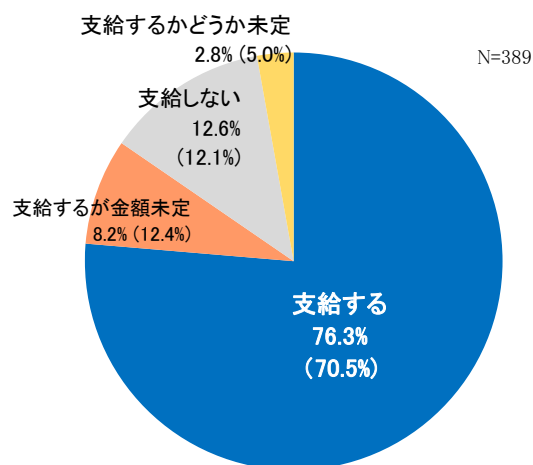
1. ボーナス支給の有無

ボーナスを「支給する」企業と、「支給するが金額未定」の企業を合わせると、8割超の企業が今冬ボーナスを支給する予定である(図表1)。

2. ボーナス支給額の見通し

ボーナス支給見込み額と昨冬の実績をあわせて尋ねたところ、従業員数で加重平均した今冬の一人当たりボーナス支給額は、49万9400円(昨冬比+5.4%)、平均支給月数は1.90カ月(昨冬比+0.04カ月)となる見通しである(図表2)。昨冬の支給額、支給月数に比べ、製造業、非製造業とも増加している。

図表1 冬季ボーナス支給
(括弧内は前年の調査結果)



注: 四捨五入の関係で合計が100%にならないことがある。以下同様。

図表2 県内企業の冬季ボーナス支給額と支給月数

	回答企業数	支給額			支給月数		
		24年	23年	増減率	24年	23年	差
製造業	63	550,200	516,700	6.5%	2.07カ月	2.00カ月	0.07カ月
非製造業	160	453,700	434,600	4.4%	1.74カ月	1.71カ月	0.03カ月
全業種計	223	499,400	473,600	5.4%	1.90カ月	1.86カ月	0.04カ月

注: 業種不明先を除く。100円未満を四捨五入。

従業員規模別では、今冬の支給額は昨冬に比べて、従業員数の区分ごとに金額や増減率の差はあるが、すべての従業員規模で支給額が増加する見込みである（図表3）。

図表3 従業員規模別の冬季ボーナス支給額

（単位：円）

従業員数		29人以下	30人以上 99人以下	100人以上 299人以下	300人以上
		回答企業数	81	96	38
支給額	① 24年	404,100	430,400	485,700	640,100
	② 23年	383,500	412,400	453,900	610,400
	差額①-②	20,600	18,000	31,800	29,700
	増減率	5.4%	4.4%	7.0%	4.9%

注：従業員数不明先を除く。100円未満を四捨五入。

3. ボーナスの支給時期

県内企業のボーナス支給時期については、ほとんどの企業が年内に支給する見込みである（図表4）。ボーナス商戦は12月中旬前後と考えられる。今冬は消費者物価上昇の中ではあるが、ボーナス上昇も一定程度みられており、消費にどれくらい回るか、その動向が注目される。

図表4 冬季ボーナスの支給時期

支給時期	回答企業数	構成比率
11月以前	9	2.8%
12月1日～10日	116	35.7%
12月11日～20日	129	39.7%
12月21日～31日	62	19.1%
1月以降	6	1.8%
時期未定	3	0.9%
合計	325	100.0%

注：支給時期不明先を除く。

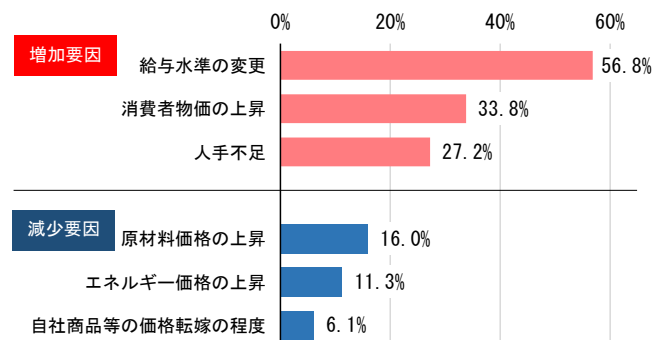
4. ボーナス支給に影響を与えた要因

ボーナス支給に影響を与えた要因のうち、増加要因では「給与水準の変更」が56.8%と最も多くなった（図表5）。「消費者物価の上昇」や「人手不足」もそれぞれ3割程度みられた。

一方、減少要因では「原材料価格の上昇」が16.0%で、「エネルギー価格の上昇」がこれに次いだ。

図表5 ボーナス支給に影響を与えた主な要因

N=213



5. 今後の賃上げに対する考え

今後の賃上げに対する考えについて調査した結果をみると、「物価上昇に見合わないが引き上げる方針」と回答した企業が25.3%を占めるなど、多くの企業が賃上げを実施すると見込まれる（図表6）。

その一方、昨年との比較では、「賃上げするかは未定」「賃上げは当面考えていない」の割合が高くなり、賃上げに慎重な動きもみられた。

図表6 今後の賃上げに対する考え

N=384

